

CHESS

Magazine

#27

August 2026
japanchess.org

Interview

加藤杏実さん

Elizabeth Ivanovさん

全日本女子チェス
選手権2026
全日本シニアチェス
選手権2026

〔優勝者自戦記〕

長谷川愛美／東野徹男

WR Women's Chess Tour 2026 Tokyo

開幕直前!! 2026年
チェス・オリンピックを
楽しむための歴史ガイド

チェスオリンピック2026 日本代表選手紹介

GM Alexandra Kosteniuk 同時対局イベント 他



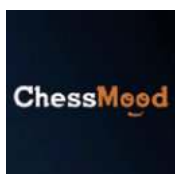
Japan
Chess
Federation

CHESS Magazine #27 August 2026

特集

- ♥ 03 **WR Women's Chess Tour 2026 Tokyo**
- ♥ 23 **オリンピアードを楽しむための歴史ガイド**
- ♥ 28 **オリンピアード日本代表選手紹介**
- ♥ 31 代表選手インタビュー 加藤杏実
- ♥ 34 代表選手インタビュー Elizabeth Ivanov
- ♥ 39 **全日本女子チェス選手権2026**
全日本シニアチェス選手権2026
- ♥ 41 優勝者自戦記 「なっちゃんとカロ・カンと私」 長谷川愛美
- ♥ 42 優勝者自戦記 「更に上を目指して」 東野徹男
- ♥ 44 **GM Alexandra Kosteniuk同時対局イベント**
- ♥ 45 チェス大会inアメリカ No.90 上杉賀子

表紙：GMラメシュバブ・ヴァイシャリ 写真：©2026レナート・オーテス



JUN.6-JUN.7.2026

**THE FIRST TOP-LEVEL
CHESS EVENT EVER
HELD IN JAPAN**



**WR
Women's
Chess
Tour
2026
Tokyo**



2026年6月6日(土)、7日(日)に東京でWR Women's Chess Tour 2026 Tokyoが開催されました。世界トップクラスのGMたちに加え、日本からWCM坂井あづみ選手が出場しました。



前列左からGMアレクサンドラ・コステニューク、IMアルア・ヌルマン、GMラメシュバブ・ヴァイシャリ、GMカテリーナ・ラグノ
後列左からIMイリネ・カリスマ・スカンダル、GMアントアネタ・ステファノヴァ、真鍋浩日本チェス連盟代表、
ヴァディム・ローゼンシュタインWRChess代表、IMアンナ・M・サルグシャン、WCM坂井あづみ



この大会はWR Chess（世界ラピッド＆ブリッツ・チーム選手権の企画をFIDEに持ち込むなど、近年精力的に活動している組織）が主催する大会で、第1回の今年はアジア（6/6・7日本）を皮切りに、アメリカ（7/1・2ドミニカ共和国）、アフリカ（8/21・22モザンビーク）、ヨーロッパ（8/25・26フランス）と4大陸で、それぞれ8選手がノックアウト方式でラピッドとブリッツを戦い、各1位と2位が年末のグランド・ファイナルを戦う、という方式です（選手が出場できるのは1大陸のみ）

写真左 Wadim Rosenstein代表





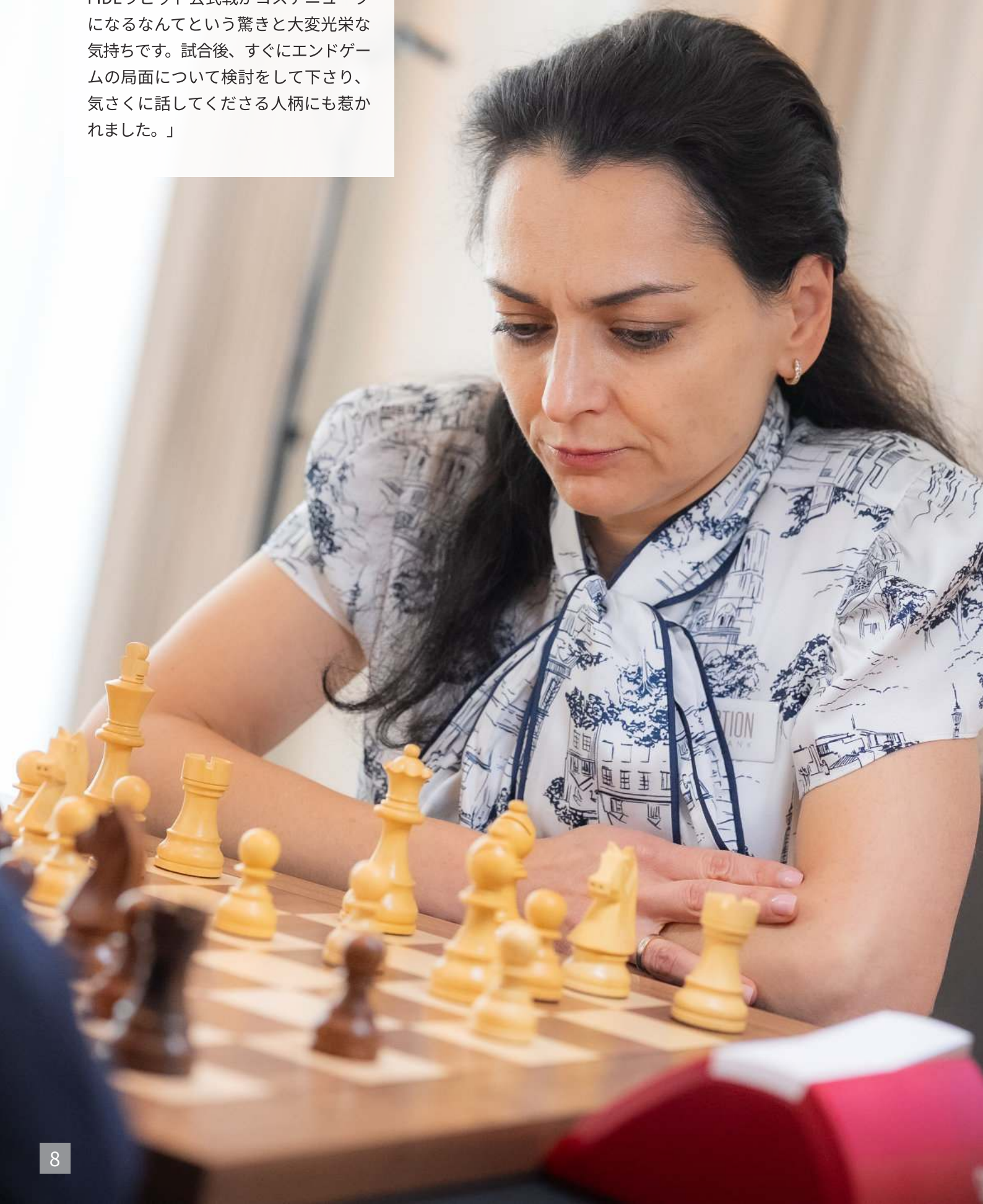
初日は15分+10秒のラピッド戦です。坂井選手の初戦の相手はGMアレクサンドラ・コステニューク。女子世界チャンピオン（2008～2010）、FIDE女子ワールドカップ優勝（2021）、女子世界ラピッドチャンピオン（2023）と輝かしい実績を積み重ねてきました。





坂井「K.O.式トーナメントで対戦
相手が決まっていたので、自分で過
去の彼女のゲームを調べただけでな
く、オリンピアドのコーチのミー
シャ（GM Stojanovic Mihajlo）に頼
んで特訓してもらいました。しかし
白番でも黒番でもデータベース上で
は彼女が過去にほとんど指していな
い定跡を選んできたので、プレパレ
ーションは空振りでした。」

坂井「コステニュークは、今までオリンピックで遠くから眺めていた憧れの選手でした。まさか私の初めてのFIDEラピッド公式戦がコステニュークになるなんてという驚きと大変光栄な気持ちです。試合後、すぐにエンドゲームの局面について検討をして下さり、気さくに話して下さる人柄にも惹かれました。」



ラピッドで優勝したのはGMラメシュバブ・ヴァイシャリでした。坂井選手に勝ったコステニークを1.5-0.5で下し、決勝でIM アルア・ヌルマンを1.5-0.5で下しました。2026年のCandidatesで優勝し、女子の現世界チャンピオン、GMジュー・ウェンジュンへの挑戦権を獲得した実力者が本領を発揮しました。







対するヌルマンは今大会の台風の目となりました。カザフスタン生まれの19歳。初戦で元女子世界チャンピオンのGM アントアナeta・ステファノヴァに2-0、準決勝でGMカテリーナ・ラグノに1.5-0.5で勝つという番狂わせを連続して演じ、決勝進出の快挙です。今後の活躍に注目しましょう。





このラピッドにおいて、ラウンド開始の合図となる、名誉あるセレモナル・ファースト・ムーブを真鍋代表とWCM三津山六花が務めました。





試合の合間には日本の将棋のワークショップが行われました。北尾まどか女流三段（将棋のプロ棋士）が将棋とどうぶつ将棋の駒の動きや競技ルールを説明し、チェスの選手同士が将棋の対局を楽しみました。北尾三段は決勝のセレモニアル・ファースト・ムーブも務めました。





将棋のワークショップは、決勝に残った選手以外の全員が参加して、とても盛り上がりました。どうぶつ将棋のセットを自分用に購入した人もいました！





大会2日目、坂井選手のブリッツの相手はGMカテリーナ・ラグノ。2018年に女子世界選手権の挑戦者となったほか、女子世界ラピッドチャンピオン（2014）ほか多くの優勝歴がありますが、なにより女子世界ブリッツ選手権で3度（2010、2018、2019）もチャンピオンに輝いたので「早指しの女王」と呼ばれています。

坂井「コステニュークとは対照的に、ラグノはほぼ予想通りの戦型になりました。加えて初日のラピッドで『黒番ではこれを指すのか！』と気づかされた定跡（*）をブリッツでも指してきたので、こちらは予想は当たりましたが、初めて指す形で対策は不十分でした。」

* *Tarrasch Defense: Von Henning-Schara Gambit 1.d4 d5 2.c4 e6 3.Nc3 c5 4.cxd5 cxd4



坂井「ラグノは、女子世界ブリッツチャンピオンに何度も輝いており、無駄のない綺麗な所作にも圧倒されました。初戦は、序盤はしっかり準備していた戦型にできましたが、そこから簡単に攻められて負けてしまいました。控室でもお話しさせていただき、よい経験になりました。ラグノは、今大会優勝されたので、Grand Finalにも注目したいと思います。」



IMイリネ・カリスマ・スカンダルはインドネシア女性として初めてWGMとIMの称号を獲得した強豪です。アジアでの国際大会で日本選手とよく当たり、よく勝つため、海外遠征する日本のトップ選手にはおなじみの「有名人」です。

ブリッツでGM ステファノヴァを2-2のタイからアルマゲドンで倒すという快挙を成し遂げました。続く準決勝ではGMコステニュークに1.5-2.5の惜敗。その実力を遺憾なく発揮しました。



ブリッツの決勝戦はGMラグノ対GMコステニーク。両者譲らず2-2となってアルマゲドン（*）で決着しました。手に汗握るハイレベルな戦いが最後まで繰り広げられ、濃密な時間が流れた末に大会は静かに幕を閉じるのでした。

*白の持ち時間は5分。黒の持ち時間を両選手が入札し、短い方が黒を持つ。ドローになれば黒の勝ちとする。







今大会にはFA阿部裕太とFA平塚義啓がアービターとして参加し、世界のトップ選手が競う大会をつつがなく進展させる重責をにいました。また、日本チェス連盟が大会運営を支えました。



左から FA阿部裕太、IAゲルハルト・ベルタニヨッリ、FA平塚義啓、真鍋浩日本チェス連盟代表

今大会でCAを務めたベテランIAベルタニヨッリ氏はFIDE審判委員会 (Arbiter's Commission) のメンバーでもあります。公式YouTubeで解説者のGMヤン・グスタフソン、インタビュアーのWIMフィオナ・スタイル＝アントニ、カメラマンのレナート・オーテスと、世界でトップレベルのチェス大会でしばしば目にするビッグネームが一堂に会したのは壮観でした。またいつか近い内にこれほどの大会が日本で開かれますようお願いしてやみません。



【撮影 & 写真提供：

©2026レナート・オーテス(P.3～P.21、P.22 上、中、下、ご本人の写真を除く全ての写真) レナート氏のホームページやインスタグラムではトップチェスプレイヤーの素敵な写真が多数掲載されています。必見です。

HP: [Lennart Ootes](http://LennartOotes)

Instagram: [@LennartOotes](https://www.instagram.com/LennartOotes)

(@lennartootes)】

【参考：WR Chessの広報ページ

[Kateryna Lagno Takes the](#)

[Tokyo Blitz, Joins Vaishali](#)

[Rameshbabu in the Grand Final](#)

[| WR Chess](#)】

(広報部：神田大吾)



開幕直前！！
2026年
チェス・オリンピックを
楽しむための歴史ガイド



The 1st Chess Olympiad 1927

Photo:Keystone View Co., London 『Wiener Bilder』 1927年掲載より

第46回チェス・オリンピックが、ウズベキスタン・サマルカンドでいよいよ開催されます。

個人戦のイメージが強いチェスにおいて、オリンピックは国ごとにチームを組んで戦う「国別対抗のチーム戦」であり、「チェス界最大の団体戦」です。サッカーで言えばワールドカップに近い存在であり、盤上で国家の威信がぶつかり合う特別な舞台でもあります。トッププレーヤーたちが自国の名を背負い、静かな盤上で激しくぶつかり合います。

来月幕を開ける『46th FIDE Chess Olympiad 2026』を楽しむために、私たちが知っておくべきオリンピック100年の史実を紐解きます。

はじまりは1927年

チェス・オリンピックが初めて公式開催されたのは1927年、ロンドンです。主催は現在も世界のチェスを統括する国際チェス連盟（FIDE, Fédération Internationale des Échecs）です。実はロンドンで開催される前の1924年、後にFIDEとなるFédération Internationale Échecs(FIE)がパリでオリンピックを開催していますが、この大会は公式とされていません。以来、およそ2年に一度のペースで開催されています。

当初はまだ規模も小さく、第1回目の参加国はたった16ヶ国でした。しかし、「国同士で戦う」という構図は、すでに特別な意味を持っていました。チェスは個人競技でありながら、ここでは国家を背負う、その緊張感が、この大会を唯一無二の存在へと育てていきました。

約1世紀の時を経て、2024年の第45回ブダペスト（ハンガリー）大会では197の国と地域が参加し、世界中の国と地域が参加する一大イベントへと成長しました。大会は通常、4人のレギュラーとリザーブで構成されるチーム戦で行われます。各ラウンドで国同士が対戦し、総合成績で順位を競います。

冷戦が生んだ “最強国家”ソ連

チェス・オリンピックの歴史を語るうえで欠かせないのが、ソビエト連邦の圧倒的支配です。第二次世界大戦後、ソ連はチェスを国家戦略として強化しました。学校教育、専門コーチ、研究体制、あらゆる資源を投入し、専門コーチと研究環境を与え、才能ある子どもを早期に発見し、競争の中で鍛え上げました。こうして生まれたのが、ミハイル・ボトヴィニク

(第6代世界チャンピオン)、ヴァシリー・スミスロフ(第7代世界チャンピオン)、ミハイル・タル(第8代世界チャンピオン)、チグラン・ペトロシアン(第9代世界チャンピオン)、ボリス・スパスキー(第10代世界チャンピオン)、アナトリー・カルポフ(第12代世界チャンピオン)、ガルリ・カスパロフ(第13代世界チャンピオン)といった「歴史に名を刻む天才たち」です。

代表チームはまさにオールスターとなりました。ボード1には常に世界王者クラスがプレーし、勝つことが当然であり、負ければニュースになるほどでした。1952年の初参加から1990年までに参加した20大会中18回優勝(1976年不参加、1978年2位)という圧倒的な成績を残し、ソ連の無双時代を築きました。ソビエト連邦は、オリンピック最多優勝国です。

この時代、世界は冷戦の只中であり、チェスは国家の知的優位を

示す象徴でもありました。「知性の象徴」としてチェスで西側諸国に優位を示そうとしたのです。盤上での勝利は、そのまま国の誇りに直結しており、チェス・オリンピックは単なるスポーツではなく、冷戦という巨大な政治対立の縮図でもありました。

盤上にも影を落とした政治 1976年のボイコット

1976年の大会は、歴史の中でも特に異質な回として知られています。当時の世界は冷戦と中東におけるイスラエルとアラブ諸国の対立という二重構造の緊張下にありました。特に1970年前後は第三次中東戦争(1967年)、第四次中東戦争(1973年)といった衝突の直後であり、イスラエルとの関係は極めて政治的に敏感な状況にありました。そのため、開催地がハイファ(イスラエル)だったことを理由に、ソ連や東欧諸国、アラブ

諸国が参加を拒否し、不参加国は30ヶ国以上にのぼりました。この結果、優勝国はアメリカ合衆国、2位オランダ、3位イングランドと上位は大きく変動し、本来優勝候補だったソ連が不在だったため、「実力世界一決定戦」としての性格は薄れました。

さらに異例だったのは、ボイコット国側が対抗大会をトリポリ(リビア)で開催したことです。いわば「分裂したオリンピック」が同時期に存在する状態でした。ただしこの大会は国際チェス連盟の公式記録には含まれていません。

一強時代の終焉 「最強＝優勝」ではないという現実

1991年にソビエト連邦が解散し、15の共和国に分かれました。その内の一つであるロシアが1992年から2002年まで6大会連続で優



左3番目から
Anatoly Karpov
Garry Kasparov
Lev Polugaevsky
Alexander Beliavsky
Mikhail Tal
Artur Yusupov

勝ち続けましたが、その後徐々に勢力図が変わっていきました。2004年のカルビア（スペイン）大会では、ロシア代表はピーター・スヴィドラー、アレクサンダー・モロゼヴィッチ、アレクサンダー・グリシュクを含む超豪華メンバーを揃えた圧倒的戦力で出場しました。平均レーティングは2724。出場国で平均レーティングが2700を超えた唯一の国でした。しかし、世界最強軍団と呼ばれたロシアでしたが優勝できず、2位となり、優勝したのはウクライナでした。ウクライナは平均レーティングで劣りながらも、チーム全体で安定したスコア（引き分け+要所で勝利）をあげ、上位ボードが負けられないという戦い方でロシアを上回りました。

チームがリードしている状況では、無理に勝ちを狙うよりも確実に引き分ける方が価値を持ち、一方で、劣勢のチームでは、リスクを承知で勝負に出る必要があります。つまり、ここでは「盤面の最善手」と「チームの最善手」が一致しないことがあります。こうい

ったチームでの駆け引きが噛み合わなければ、最強の駒を並べても勝てません。「個人最強=チーム最強」にならないのがチェスオリンピックの面白さでもあります。その後、2006年と2008年はアルメニアが優勝し、2010年はウクライナ、2012年は再びアルメニアが優勝し、ロシアは2位以下となっています。

新たな主役の登場 中国の台頭

21世紀に入り、チェス界はさらに多極化していきます。その象徴が中国の台頭です。長らく女子で強さを誇っていた中国は、2014年トロムソ（ノルウェー）大会で遂に男子でも優勝を果たしました。これはヨーロッパ中心だったチェスの勢力図が大きく変わった瞬間でした。国家的な育成システム、若手の台頭、そして国際経験の蓄積。これらが優勝に繋がりました。従来の「エース頼み」ではなく全員で勝つ構造、これは現代型チームの理想形とされています。

若き才能が世界を驚かせる インドの躍進

2022年チェンナイ（インド）大会は、世代交代を象徴する大会となりました。優勝国ウズベキスタンのチームの平均年齢は21歳でした。また、平均年齢19歳のインドBチームが次々と強豪を破って3位となり、「未来のインド黄金世代」として強烈な印象を残しました。

そして2年後、2024年ブダペスト（ハンガリー）大会で、インドは優勝を果たします。チームには2022年のインドBチーム（3位）からの継続メンバーとしてグケシュ・ドマラジュ、ラメシュバブ・プラグナナンダがいました。インドはオープン、女子の両部門で金メダル（ダブル優勝）という史上初の快挙も達成しました。さらに、オリンピックから3か月後、グケシュ・ドマラジュは、第18代世界チャンピオンとなりました。彼は、18歳6か月で世界チャンピオンとなり、それまでガルリ・カスパロフが持っていた世界チャンピ



The India Chess teams at Budapest Olympiad 2024 Photo:FIDE/Michal Walusza

オンの最年少記録（22歳6ヶ月）を40年ぶりに大幅更新しました。また同大会3位、ウズベキスタンの3番ボードで戦っていたジャボヒル・シンダロフがFIDE Candidates Tournament 2026で優勝し、今年の11月に World Chess Championshipでグケシュ・ドマラジュと世界チャンピオンの座を賭けて対戦します。20歳同士の決戦ということでも注目されています。

これからのチェス・オリンピックアード

今年のサマルカンド大会は、単なる2年に一度の国別対抗戦ではありません。2年前のブタペスト大会で「男女ダブル優勝」という衝撃的な歴史を作ったインド。そして、ディフェンディング・チャンピオンのインドをホームで迎え撃

つウズベキスタン。さらに、この大会のわずか2ヶ月後には、現在の世界チャンピオン、グケシュ（インド）と、挑戦者シンダロフ（ウズベキスタン）のWorld Chess Championship Matchが控えており、その前哨戦としても注目です。

現在、チェスの勢力図はかつてないほど広がっています。かつてのような絶対王者はおらず、アメリカ、インド、中国、ヨーロッパ各国どこが勝っても不思議ではない時代となりました。10代、20代前半の若い世代も目覚ましい活躍を見せています。オリンピックアードの魅力のひとつに「番狂わせ」があります。次に盤上で歴史を動かすのは、どの国でしょうか。そして、どのプレーヤーが新たな英雄となるのでしょうか。約100年前に16ヶ国で始まった小さな大会は、今や世界最大級の知の祭典へと成

長しました。チェス・オリンピックアードは、これからも新たな歴史を刻み続けていくことでしょう。

そして、私たち日本代表チームが、この世界最大規模の知の祭典でどう戦うのか、日本代表チームの活躍にも大いに期待したいと思います。サマルカンド大会でも、日本チェス連盟によるYouTubeでの実況解説付き応援配信が予定されています。みんなで日本代表チームを応援しましょう！

（広報部：森谷真理子）



チェスオリンピック2026

日本代表選手紹介

今年のチェスオリンピック(第46回)は、2026年9月15日から27日までウズベキスタンのサマルカンドで開催されます。日本からはオープンセクション5名、女子セクション5名、計10名の選手が参加し、日本代表として世界の強豪に挑みます。

日本チェス連盟では、選手の強化費や渡航費をサポートするクラウドファンディング、さらにオリンピック期間中は日本代表応援配信を実施します。

日本代表チームへの応援を心よりお願い申し上げます!

OPEN



NANJO RYOSUKE

IM 南條 遼介

戦績 | 全日本チェス選手権2023・2024優勝(計5回) / ジャパンチェスクラシック2019優勝・ジャパンリーグ優勝4回 / ジャパンオープン優勝10回 / サマーオープン2026優勝

メッセージ | 応援してくださる皆様方への感謝とともに、オリンピックの舞台で試合ができることがいかに素晴らしいか、少しでも多く伝えるように全力を尽くします。



TRAN THANH TU

IM チャン・タン・トゥ

戦績 | 全日本チェス選手権2025優勝(計4回) / ジャパンチェスクラシック2022優勝 / ジャパンオープン2018優勝 / FIDE World Cup 2023・2025出場 / FIDE World Rapid and Blitz Championships 2025出場

メッセージ | いつもご応援ありがとうございます。チームと共に、オリンピックの本番へ向けて準備を進めています。皆様の応援を力に変え、盤上でベストを尽くします!



KOJIMA SHINYA

IM 小島 慎也

戦績 | 全日本チェス選手権優勝5回 / ジャパンチェスクラシック2025優勝・ジャパンリーグ優勝5回 / ジャパンオープン2022優勝(計7回) / アジア競技大会2006・2010・2022日本代表

メッセージ | 今、アジアで最もチェスがアツい国、ウズベキスタンでのオリンピック開催です!この国のチェス熱に負けぬよう、盛り上がる戦いをお届けしたいと思います。



OTSUKA SHOU

FM 大塚 翔生

戦績 | 名古屋オープン2025優勝 / ジャパンオープン2022 3位・2023 4位 / 全日本チェス選手権2025・2026 4位 / 2025年度ベストプレーヤー賞受賞

メッセージ | 日本代表としてオリンピックに出場する機会を得ることができ、非常に光栄な思いです。誰にも負けない強い気持ちと、感情に引っ張られない盤上での冷静さをもって、ベストを尽くします。応援よろしくお願いします!



YAMADA KOHEI

FM 山田 弘平

戦績 | 東京チェス選手権2024優勝 / 城崎温泉オープンチェストーナメント2025優勝 / ジャパンオープン2017優勝 2022・2023 2位 / ジャパンチェスクラシック2026 3位 / アジア競技大会2010・2022日本代表

メッセージ | 今年は強力な新コーチを迎えてチーム一同気合が入っています。「日本代表ってかっこいい」と憧れてもらえるようなプレーができるよう頑張ります!

46TH FIDE CHESS OLYMPIAD
SAMARKAND 2026



初出場

ELIZABETH IVANOV

エリザベス・イバノフ

戦績 | 全日本女子チェス選手権 2025 優勝・2026 3位

メッセージ | 初めてのオリンピアードで、日本代表の一員になったことを、とても光栄に、嬉しく思います。しっかり準備して、皆様のご期待を裏切らないように最善を尽くします。



初出場

KATO AMI

加藤 杏実

戦績 | 全日本女子チェス選手権 2023・2025・2026 4位 / 東京チェス選手権 2024 グループA 3位

メッセージ | 初めてのチェスオリンピアード、サマルカンドの舞台をチームメンバーと力を合わせ全力で戦ってきます！応援よろしくお願いします！



出場 2 回目
初出場 2024年

KINOSHITA KANAKO

木下 奏子

戦績 | ハーグ女子選手権 2023 優勝 / DD Open 2023 女子 1位 / 全日本女子チェス選手権 2025 3位

メッセージ | 多くの方々に様々な形で応援していただき、心より感謝しています。日本チェス界の熱い想いに応えるべく、一手一手進めていきたいと思っています。



出場 3 回目
+オンラインオリンピアード
出場 1 回
初出場 2022年

WCM MITSUYAMA RIKKA

WCM 三津山 六花

戦績 | 全日本女子チェス選手権 2022 優勝・2023 2位・2024 3位・2025 2位・2026 2位 / 全日本チェス選手権 2024 女子 1位 / 全日本ユースチェス選手権 2025 U16 1位兼 U16 女子 1位

メッセージ | オリンピアードへの出場が叶いとても光栄です。100%の力を出せるよう体調管理をしっかりし、万全な状態で臨みたいです。チームの為に一生懸命頑張ります。



出場 6 回目
連続記録更新中
+オンラインオリンピアード
出場 2 回
初出場 2014年

WCM SAKAI AZUMI

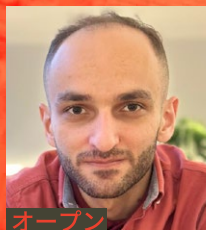
WCM 坂井 あづみ

戦績 | 全日本女子チェス選手権 2023 優勝 / 全日本女子チェスチャンピオン 2019・2024 / 全日本チェス選手権 2023・2026 女子 1位 / 千葉チェス選手権 2023 優勝 / WR Women's Chess Tour 2026 Tokyo 出場

メッセージ | 2年前のオリンピアードより自分は成長できたのか。皆さんの声援に応えられるように、チームとしても個人としても、より良い結果を目指して頑張ります！

WOMEN

コーチ



オープン

GM Ter-Sahakyan,
Samvel
(アルメニア)



女子

GM Stojanovic,
Mihajlo
(セルビア)

選手団長



真鍋 浩
日本チェス連盟 代表

◀ 日本代表選手を応援しよう! ▶

クラウドファンディング実施中!

46th FIDE
Chess Olympiad
Samarqand

TEAM JAPAN 2026

チェスオリンピック2026 出場選手を応援しよう!!

詳しくはこちら



選手紹介PV



選手紹介PVを見る ▶

特設ページ※



特設ページを見る ▶

Interview

インタビュー

加藤杏実さん

思考を投げ出さずに諦めない
逆転のチャンスは
逃さずに掴み取る

かとう・あみ

2000年生まれ。2021年以降数々の大きな大会に出場し実力を伸ばす。2024年8月に自己ベストFIDEレーティング1810を記録。全日本女子選手権では4年連続トップ5に入る。初めて第46回オリンピアードの日本代表に選出された。現在は大学院生として研究活動に励んでいる。



チェスを始めたきっかけは何でしたか？

受験時代に頭を使うゲームを始めたかったというのが理由です。受験勉強をするうえで、勉強はしなきゃいけないのはありますけれども、何か別のことを一緒にしたかったというのもありました。頭を使うゲームならまだしてもいいんじゃないかという気持ちがあったのと、ゲームが好きなので（笑）何かしらのゲームをしたいなという思いもあり始めたのがきっかけです。そのような経緯だったので、ここまで長く続けているのは自分でもびっくりではあります。

チェスを今まで続けてこられたのはなぜだと思いますか？

チェスを続けてこられたのは、チェスが気軽にできるという特徴を持つてからだと思います。チェスはタクティクスもあるし、対局の時間を好きにいじれるので短い時間からできます。なのでパソコンやスマホを開いた時にふと触ってしまうようなことがあり、チェスがちょっと嫌になってもつつい戻ってしまうことがあるので続けているのだと思います。

チェスの楽しさはどういったところにありますか？

チェスの楽しさは、チェスの対局にプレーヤーの人柄が出るところだと思います。チェスの対局する場では年代や職種がばらばらで、そういった人達の今まで過ご

してきた環境や人柄が対局に出るので、それを感じたりしながら交流することがチェスの楽しさだなと思っています。

最近チェスをしていて、前より成長してるなと思っていることは？

チェスで最近成長したなと思っているところは、カリキュレーションの部分だと思います。全日本で不甲斐ない成績を見せてしまったんですが、その時に自分の強みだと思ってたカリキュレーションがいまいち発揮されなかったもので、そこからより意識して練習するようになりました。これからオリンピックに向けて努力しようと思っている部分です。



加藤さんのプレースタイルに影響を与えたものについて教えてください。

私のプレースタイルに影響を与えたものは、YouTubeチャンネルのルセナさんだと思います。私がチェスを始めた頃と同じ頃に、チャンネルを開かれたということもあり、動画だったり配信をずっと見てきました。ちょうどコロナが流行った頃でもあったので、他の人と対面で交流ができないなか、配信はチェスを通していろんな人と話せる場でもあったので、私にとっても大きな影響を与えました。

それと、チェスの戦略大全という本は私が最初によく読んだ本でもあったので、その本が初級者から中級者に上達するうえで役に立ちました。

チェスをプレーするうえで大事にしている考え方や価値観があれば教えてください。

チェスをプレーするうえで大事にしていることは、諦めないことです。チェスは、1ピース差がついたりすると負けてしまうことが多いです。それでも思考を投げ出さずに諦めないでいると、再び逆転

するチャンスが回ってくる可能性があります。その機会を逃さずに掴み取ることが大事だと思っており、諦めないことを心がけています。

代表入りを知った瞬間はどんな気持ちでしたか？

代表入りを知った瞬間はとても嬉しく思いました。前回や前々回に、オリンピックに行けなかった悔しさもあって、次こそは頑張ろうという気持ちもありました。そこで今回代表入りを果たすことができて、念願が叶って嬉しく思っています。

ご自身の強みや弱みはどんなところにあると考えていますか？

私の強みは、集中力にあると思います。昔から、百人一首やテニスなど集中力を試されるような競技をやっていました。なにかに集中することが好きですし、チェスをするうえで集中する具合が深いというのは強みになるのではないかと思います。弱みは、体力がないことです。オリンピックでは2週間という長い期間対局するので、肉体的にも精神的にも体力をつけることが課題だと思っています。

代表チームの中で、加藤さんの役割はどんなところにあると思いますか？

オリンピックのチームの中で私の役割は、ポイントをしっかりと取り取ることだと思います。オリンピック初出場ということもあ

り、下のボードを任されることになると思うので、他の人がポイントを取れなくても自分がしっかりポイントを取って、チームを支えることが私の役割だと思っています。

オリンピックの舞台で戦える機会について、どのように感じていますか？

2週間チェスのことだけを考えて、集中できる環境に自分が身を置けるということなので、とても楽しみに思っています。

今回のオリンピックで特に楽しみにしていることがあれば教えてください。

オリンピックで楽しみにしていることは、いろんな国の方々と対局することです。チェスを通して、相手の人柄に触れつつ、いろんな国の人達とチェスを通じて交流できることを楽しみに思っています。

オリンピックで個人として目標にしていることがあれば教えてください。

目標は、勝ち越しをすることです。まず、チームとして、全体のポイントの勝ち越しを目標にしています。自分がそれに貢献するためには、自分のポイントを勝ち越



すことが、チームに対して貢献することに繋がっていると思います。

大会への意気込みをお願いします。

今まで積み重ねてきた努力や経験だったり、そういった部分を発揮できるようにし、納得できるような成績を上げられるように頑張りたいです。

ありがとうございました。今後ま

すまずのご活躍をお祈り申し上げます。

(聞き手：広報部 鈴木秀聡)

Interview

インタビュー

Elizabeth Ivanovさん

支えてくれた人たちに 結果で恩返しをしたい

エリザベス・イバノフ

2001年生まれ。幼少期にイギリスでチェスを始める。数多くの大会に出場し頭角を現わす。2024年に日本へ拠点を移して、競技チェスを再開。全日本女子チェス選手権2025優勝。全日本女子チェス選手権2026 3位。今年オリンピックアードに日本代表として初出場する。大学時代から子供にチェスを教えている。



チェスを始めたきっかけは何でしたか？

私が8歳ぐらいのときに1歳下の弟がチェスをやっていて、私もやってみたくて思ったことがきっかけでした。お母さんも弟と私が一緒にできる部活を探してくれていて、チェスを本格的に始めてからは、週末にお母さんがイギリスのあちこちの試合に連れていってくれました。

チェスを今まで続けてこられたのはなぜだと思いますか？

私は8歳から毎週のように試合にでていました。イギリスのイングランドジュニアという子供達のチームに所属していたのですが、そこでできた友達と仲良くなって彼

らに毎週会うのが楽しみでした。チェスを続ける理由としてはそれで十分でした。

またそのころはマグヌス・カールセン、ヒカル・ナカムラが2人とも20歳くらいで、2人はいつもテレビや新聞に出ていました。それがすごく格好良くて、2人みたいになりたいと思ったこともチェスを続けていた理由でした。

10歳ごろから勝ちたいという気持ちが強くなってきて、女子の大会にたくさん出るようになりました。そして12歳のときには、World Youth Championshipsにイギリス代表として出場しました。勝っても負けても試合を楽しむことができたので、大会が終わってからは

もっと練習して強くなりたいという気持ちがそれまで以上に強くなりました。

18歳のときに大学に入って、競技としてのチェスからは一時的に離れました。競技シーンに戻ろうと思ったのは23歳のときでした。幼いころからの友達に誘われてドイツで開かれたWorld Rapid Team Championshipに出たのがきっかけでした。当時5年ぐらい試合にしていなかったのですが、友達に誘われたこともあって出場を決めました。会場にはグランドマスターや名前を聞いたことがあるプレイヤーが集まっていました。彼らと試合をして、そこで初めて私がどれほど競技シーンに戻ってきたい



▲ 2023 Düsseldorf world rapid team championships

と思っていたかに気が付きました。そのトーナメントの最初のラウンドで、レーティング2100の人を相手にドローを取ったことはとてもよく覚えています。

チェスの楽しさはどういったところにあると思いますか？

私はミドルゲームが一番面白いと思っています。私だけじゃないと思いますが、オープニングは自然に頭に入ってこないんです。オープニングセオリーは結構時間をかけて勉強しないといけないので

すが、私にとって1番楽しいのはミドルゲームで、タクティクスを好きだけ使って、私がしたいことができるようなところが面白いと思います。

それと当たり前かもしれないですけど、勝つことがすごく楽しいです。負けから学ぶこともありますが、勉強したから勝てたとか、タクティクスや良い戦略を見つけたから勝てたといったことがあると楽しいです。

最近チェスをしていて、前より成長してるなと思っていることは？

昔からオープニングがすごい苦手で、知らない形が来てパニックになるようなこともありました。でも、オリンピック女子メンバーのコーチをしているミーシャにいろいろ教えてもらったおかげで、前よりもオープニングが楽に感じるようになりました。最近はオープニングで怖いと感じることはなくなったので、ミーシャと一緒に頑張ってるんで、ずいぶん成長したんだと思います。

エリザベスさんのプレースタイルに影響を与えたものについて教えてください。

YouTubeでよくチェスの動画を見ていました。私が1番好きなのはダニエル・ナロディツキーのスピードランビデオで、それを見て上達したと思います。

チェスをプレーするうえで大事にしている考え方や価値観はありますか？

チェスをプレーしてる間、勝ってる時、ここからは簡単だって思ったらダメだし、いつもどうやったら一番いい勝ち方ができるか想像しないとイケない。似たように、負けてる時でも諦めないっていうのがすごく大切だと思います。勝ってる時、ここから簡単だと思ってたら緩手を指しやすいし、負けてる時、負けていると思いこんでいたら、せっかくのチャンスも見逃がしてしまっただけ負けることもあるので、このようなマイ

ンドセットをやめることを大事にしています。

代表入りを知った瞬間はどんな気持ちでしたか？

1年前、代表の権利がかかっていた全日本女子選手権に出るとき、すごく緊張してたんです。当時はまだ女子チームのメンバーの誰にも会ったことなかったのですが、初めて6ラウンドプレーしないといけないことにプレッシャーを感じていました。最後のラウンドが終わった後、坂井さんに権利を獲得したことを教えてもらったとき、今まで練習を真面目に頑張ってきたことが報われたと思って嬉しかったです。

今回のオリンピックに日本代表として参加する決断をされた理由について教えてください。

私のおばあちゃんとお母さんは日本人で、子供のときからいつも夏休みは日本にいるおばあちゃんと過ごしていました。おばあちゃんとは「いつか自分も日本に住みたい」ということを、昔から何回も話していました。日本の方にもうちちょっと近づきたくて、2024年の7月ぐらいから日本に住んで大会に出たりしています。日本語はまだちょっと喋れないけど頑張っています。なので日本で代表としてプレーすることは自分にとって大きな意味があります。

ご自身の強みや弱みはどんなところにあって考えていますか？

弱みは負けているときや、プレ



ッシャーを感じてるときに悪手を選びやすくなってしまうことです。時間のプレッシャーは平気なんですけど、この試合に勝たないとダメみたいに思ったりすると、必要以上に前のめりになってしまい、足元をすくわれてしまうことが多いです。強みはタイムプレッシャーに動じないことです。私はラピッドとかブリッツとかの短い持ち時間の方が気に入ってて、時間のプレッシャーには強いんです。ただクラシカルでもあまり考えずに指してしまうことがあるので、そこは一長一短かもしれません。

今回のオリンピックで、特に楽しみにしていることや期待していることは何ですか？

オリンピックで楽しみにしていることは、チームでご飯を食べながらみんなの話をいろいろ聞いたりすることです。女子チームの

メンバーとも大体会っています。みんな優しくて親切で、私のために分かりやすい日本語を喋ってくれてすごく感謝しています。今回の大会は上位半分に入ることを目指そうということを相談しています。そういうふうにもみんな目標をたてることも楽しみです。毎日試合が終わった後みんなとその日のゲームのことを話すとか、そういうのを楽しみにしています。

オリンピックまでチェスに向き合う時間が増えると思いますが、チェスから離れる時間は必要だと思いますか？

絶対必要だと思います。チェスプレーヤーは、体を動かすことでチェスもうまくいくと考えています。私はよくテニスとか水泳をしますが、チェスによい影響を及ぼしているのを感じます。友達



はチェスをする傍らでマラソンをしていて、チェスを毎日何時間しても、体をちゃんと動かすことが大切だと思います。それと友達と一緒に過ごしてリラックスすることも大切だと思います。チェスに没頭してしまうと、運動や人と喋ることを忘れてしまうことがよくあります。だから、他のことにも目を向けることを大切にしたいほうがいいと思っています。

個人として目標にしていることがあれば教えてください。

私は日本にいる間、お母さんとおばあちゃんに試合に連れてってもらったり、いろんなサポートをしてもらったので、オリンピックで結果を出して恩返しをしたいです。もしタイトルをとって帰ってこれたら、それはお母さんとおばあちゃんのサポートが実を結んだという証になると思います。それが私のいちばんの理想です。

チェス以外の場で大事にしてる考え方や価値観を教えてください。

友達と家族をすごく大事に思っ

ています。家族は5年前ぐらいに日本に引っ越していますが、私にとって日本で家族と一緒にいれることはすごく大事なことです。私はおばあちゃん子で、毎回日本にいるときはおばあちゃんに会って、日本語を練習していました。そうやって家族と時間を過ごすことはすごく大切だと思います。

ロンドンにいるときは友達に会う時間が大切だと思っています。私の友達はチェスつながりが多くて、試合を見ていてみんなが集中しているのがわかるし、チェスに対する熱量が時々見え隠れすることがあります。似たような感覚をもっていて性格が似ている友達と一緒に時間を過ごすのが、私のリラックス方法です。

大会への意気込みをお願いします。

オリンピックは2週間の長いトーナメントで、どの相手も絶対強いことを分かっています。そんな中、途中で諦めないことが大切だと思いますし、困難を楽しみながら最後までベストをつくりたいです。コーチのミーシャと一緒にオープニングをちゃんと準備して、毎日試合が始まる前に完璧な状態にして試合に入りたいです。

ありがとうございました。オリンピックで大いに活躍されることを期待しています。

(聞き手：広報部 鈴木秀聡)



初めての相手と、気軽に指せる楽しみ

Chess Center UENO

入場料

500円税込

営業
時間

木 17:00
曜 22:00

土 12:00
曜 17:00

日 12:00
曜 17:00

チケットご購入
(Peatix)



※最終入場は各営業日の終了30分前です。

チェスセンター上野

東京都台東区北上野2-11-3シルバーフラット101

Access :

東京メトロ日比谷線 入谷駅 徒歩8分
東京メトロ銀座線 稲荷町駅 徒歩9分
JR/東京メトロ 上野駅 徒歩11分

公式HP : [リンク](#)

お問い合わせ : info.chesscenterueno@gmail.com



1人でもOK

スタッフがお相手します！



各部最大16人

みんなで一緒に！



保護者の付き添いOK

未成年1人につき1人まで無料

所在地
(Google Map)





**Tournament
Report**
大会レポート

全日本女子チェス選手権2026 全日本シニアチェス選手権2026



2026年7月19日～20日の2日間にわたり開催された全日本女子チェス選手権2026、全日本シニアチェス選手権2026では、総勢50名以上の選手が30度を超える夏真っ盛りのなか、盤上でも熱い戦いを繰り広げました。例年通り場所は品川区総合区民会館「きゅりあん」。大会形式は共にスイス式6ラウンド、持ち時間45分+30秒/手、国内スタンダード公式戦。

女子は2年後のオリンピックへの切符につながる大会でした。今年の代表メンバーを退け、見事に全日本女子チェスチャンピオンの称号を手に入れたのはWCM長谷川愛美。同氏は

R3にてWCM 小島なつみに敗れるが、その後3連勝を遂げ最終5ポイントに到達。R5まで負けなしであったWCM 三津山六花にはR6の直接対決で勝利しました。U12のカテゴリーで1位を達成した土橋亜優実が、R5終了時点で4ポイントを獲得し、全体3位をマークしていた点は特筆すべきことです。

今大会でWCM 長谷川はチェスオリンピック2028日本代表に内定しました。また、2位のWCM 三津山と共に全日本選手権2027のシード権を得ました。

シニアは50歳以上のプレーヤーに参加資格が与えられます。優勝したの

は、全勝という抜群の成績を叩き出した東野徹男。同氏は昨年のチャンピオンでもあるので、2連覇したことになります。同氏にR4で敗北したAIM 東芝輝臣が、R6にて北神匠と引き分けて同率4.5ポイントにて2位を飾りました。O65のカテゴリーにて、4ポイントという好成績で1位を勝ち取ったのは石井伊知郎でした。

今大会でオープン1位東野と2位AIM 東芝は全日本選手権2027のシード権を得ました。

プレーヤーの皆様、2日間お疲れさまでした！そして受賞者の皆様、おめでとうございます！

全日本女子チェス選手権2026 オープン

1位	WCM 長谷川 愛美	5.5/6P
2位	WCM 三津山 六花	5.0
3位	Ivanov Elizabeth	4.5
4位	加藤 杏実	4.5
5位	Alvarado Yoshida Nico	4.5

U18

1位	WCM 三津山 六花	5.0
2位	Alvarado Yoshida Nico	4.5
3位	Tani Selina	4.0

U12

1位	土橋 亜優実	4.0
2位	菊池 紗弥	3.0
3位	西野 杏	3.0

全日本シニアチェス選手権2026 オープン

1位	東野 徹男	6.0/6P
2位	AIM 東芝 輝臣	4.5
3位	北神 匠	4.5
4位	義之 岳史	4.0
5位	上谷 敏章	4.0

O65

1位	石井 伊知郎	4.0
2位	FM Jones Stephen	3.5
3位	神田 大吾	3.0



女子オープン入賞者



女子U12入賞者



シニアオープン入賞者

全日本女子チェス選手権2026優勝者自戦記 Japan Women's Chess Championship 2026



女子優勝者
長谷川 愛美

なっちゃんとカロ・カンと私

自戦記というものは、勝った対局を紹介するものなのだろうか。

チェスを覚えてから、早くも20年以上がたった。その間、黒番で相手が1.e4と指せば、迷わずカロ・カン・ディフェンスを選んできた。これまで数え切れないほど指してきたはずなのに、同じ展開になることはなく、毎回まったく異なる局面にたどり着く。チェスとはなんて奥深いのだろう！そして、今大会で唯一敗れた対局もまた、カロ・カン・ディフェンスであった。しかも対戦相手は、これまで何度も盤を挟んできた、妹のような存在でもある「なっちゃん」こと小島なつみさんである。難しい解説はプロにお任せすることにして、ここでは対局中の気持ちを中心に書いてみたい。

なっちゃんには、去年も一昨年も女子選手権で負けていたので、今年こそは勝ちたいと思っていた。

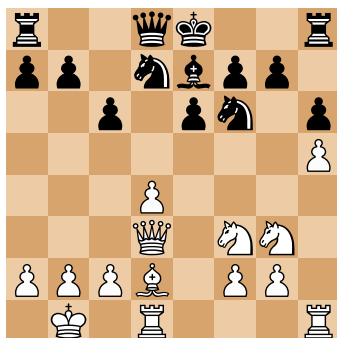
Kojima, Natsumi

Hasegawa, Emi

Japan Women's Chess Championship 2026(3)

Caro-Kann Defence B18

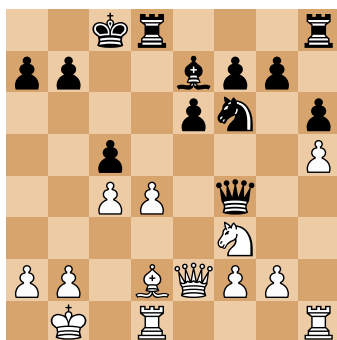
1.e4 c6 2.d4 d5 3.Nc3 dxe4
4.Nxe4 Bf5 5.Ng3 Bg6 6.h4 h6
7.Nf3 Nd7 8.h5 Bh7 9.Bd3 Bxd3
10.Qxd3 e6 11.Bd2 Ngf6 12.0-0-0
Be7 13.Kb1



いつもはここで13...0-0としてきたが、ここでちょっと変えて、なっちゃんの反応を見たくってしまったのである。

13...Qc7 14.Ne4 Nxe4 ナイトをすぐとるよりもキャスリングを優先させるべきだとはわかっていた。それでもこのときは、「駒を交換して、早くエンドゲームに持ち込みたい」という気持ちが勝ってしまった。

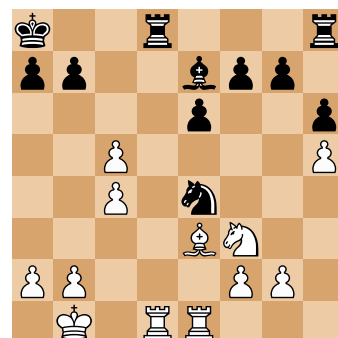
15.Qxe4 Nf6 16.Qe2 0-0-0 17.c4 c5 18.Bc3 Qf4 19.Bd2



ここで、ようやく黒にチャンスが訪れた。ところが、「とにかくクイーンを交換したい」という気持ちが強すぎて、ポーンをとれる手を見落としてしまった。正しくは、19...Qf5+ 20.Ka1 cxd4であった。一瞬、なっちゃんの表情が陰しくなったように見えた。しかし、今思えば、最後までずっと余裕だったのかもしれない。

19...Qe4+ 20.Qxe4 Nxe4 21.Be3 Kb8 22.Rhe1 Ka8 23.dxc5

ここでc5のポーンをナイトでとるべきかビショップでとるべきか3分ほど考え、不正解の方を選んでしまったのである（涙）。このあと、弱くなったf7を狙われた。



23...Nxc5 24.Ne5 Rxd1+ 25.Rxd1 Ne4 26.Rd7 Bc5 27.Bxc5 Nxc5 28.Rxf7 Rg8 29.f3 a6 30.Kc2 a5 31.Nd7 Nxd7 32.Rxd7 g6 33.hxg6 Rxd7 34.g4 Rf6 35.Rd3 Kb8 36.Kd2 Kc7 37.Ke3 Kc6 38.f4 Rg6 39.Kf3 Rf6 40.Ke4 Kc5 41.b3 Rg6 42.Rg3 h5 対局はこのあともしばらく続いたが、もうなすすべがなく、押し切られて負けてしまった。

1-0

結局、今年もなっちゃんには勝てなかった。それでも、そのほかの5局には幸運にもすべて勝ち、初めて女子選手権で優勝できた。感無量である！ 何度オープニングを教えていただいても、上達しない私に呆れながらも、最後まで破門にせず指導を続けてくださったコーチのY氏。そして、私にチェスという一生楽しめる世界を教えてくださった指導教官の西森敏之先生。お二人には、感謝してもしきれない。

全日本シニアチェス選手権2026優勝者自戦記 Japan Senior Chess Championship 2026



シニア優勝者
東野徹男

更に上を目指して

昨年のシニア選手権で優勝したときは、「せっかく優勝できたし、来年は出なくてもいいかなあ」と思っていたのですが、4月に仙台から埼玉へ転勤になり、大会に参加しやすい環境が整ったことから、「出ることのできる大会はなるべく出る」との方針の下、昨年に引き続きの参加となりました。結果は6戦全勝、中継サイト Chess.com の評価も上々で、自分としても満足いく内容でした。

Higashino, Tetsuo

AIM Higashishiba, Teruomi

Japan Senior Chess Championship
2026(4)

English Opening A14

今回紹介させていただくのは、4Rの東芝さんとの対局です。初日3連勝したのが2人だけだったので、大きな一番です。序盤は、Englishからd4を突かずにb3と突くNeo-Catalan型で始まり、白がやや指しやすいのでは？と思っていました。

1.Nf3 d5 2.g3 Nf6 3.Bg2 e6 4.c4
Be7 5.0-0 0-0 6.b3 b6 7.Bb2 Bb7
8.Nc3 dxc4 9.bxc4 c5 10.d3 Nbd7
11.a4 a6 12.Qc2 Rb8 13.Rfb1 Qc7
14.Bc1 h6 15.Bd2 Ng4 16.Ra3
Nge5 17.Nxe5 Nxe5 18.Bf4 Bxg2
19.Bxe5 Qxe5 20.Kxg2 Rb7
21.Rab3 Rfb8

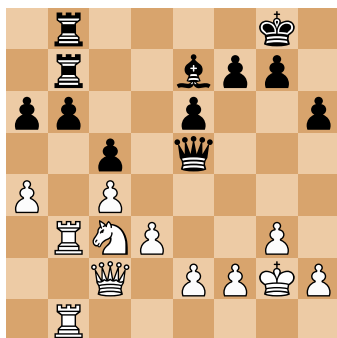
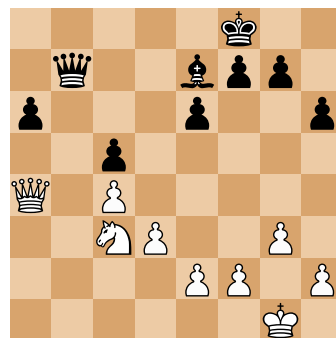


図1の局面、最初は、「クイーンを交換できれば黒の防御力が下がり、b6へのプレッシャーを強めることができるのでは？」と考え、Qd2～Qf4を読んだのですが、黒にQc7～Bd6と受けられた後がよく分からず、長考となりました。持ち時間も減って焦るなか、「a5と突けばb6の地点でルーク2組の交換を強制できて、Q+N対Q+Bの形は攻めが強力になるから？白指しやすくなるはず？」という怪しいアイデアを思いつき、このアイデアに望みを託すことにしました。

22.a5? Qc7 23.axb6 Rxb6
24.Rxb6 Rxb6 25.Rxb6 Qxb6
26.Qa4 Qb7+ 27.Kg1 Kf8



しかし本譜の順は、1)黒の弱点であったb6のポーンを解消させ、2)窮屈だった黒のルークを捌かせ、3)黒にパスポーン(a6)という主張点を与える、という一石三鳥？のブレンダーでした。その後の26.Qa4に期待したのですが、Qb7+でd7を、Kf8でe8をカバーされ、これ以上の攻めがありません。

閑話休題、僕がチェスの対局中に長考するのは、主に以下の場合です。

- ・良さそうな手順を発見し、読み抜けがないか慎重に確認する場合
- ・選択肢がいくつかあるなかで、どれが最もよいのか決められない場合

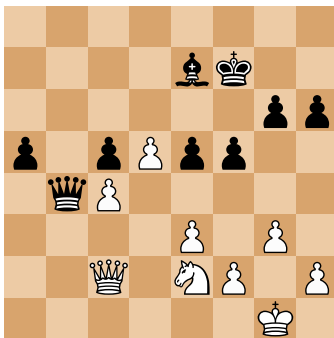


・難しい局面でアイデアが何も思い浮かばず、途方に暮れている場合

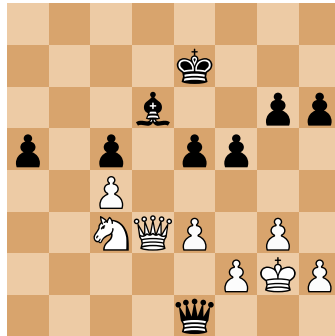
今回は3つ目のケースに近いです。長考した後でも指す手が決まらないときの僕の経験則は、「時間使っているいろいろな手を考えた後、最後に思いついた手（今回は22.a5）は、救いの蜘蛛の糸のようによい手に見えるが、多くの場合は落とし穴があり、その手を選ぶのは危険」です。にもかかわらず、「局面を進めれば見えていない継続手が見えるかもしれない」という幻想に囚われてしまいました。毎度のことですが、わかっていながら改善が難しい課題であります。

その後、白は駒が撤退する一方、黒だけ陣形を改善する有効な手を指す展開に。かなり形勢を損ねたかと思っていましたが、そこまで差が開いていなかったのは幸いでした。

28.Qa2 f5 29.e3 Kf7 30.Ne2 Qb4
31.d4 a5 32.d5 e5 33.Qc2 g6



34.d6!? Bxd6 35.Qd3 Qe1+
36.Kg2 Ke7 37.Nc3



34.d6と捨てたのは、d5のマスを空け、Qd5やNd5の筋を用意し、黒キングにチェックをかけやすい形を目指す意味です。エンジン評価は互角に近く、残り時間が少ないなかで実戦的には黒のディフェンスが難しかったようで、以下、勝ちを得ることができました。

37...e4 38.Nd5+ Kf7 39.Qb3 Qe2
40.h3 Qf3+ 41.Kg1 Bxg3 42.Qb7+
Kg8 43.Ne7+ Kf7 44.Nxf5+ Ke6
45.Nxg3 Qd1+ 46.Kh2 Qd6
47.Kg2 Qe5 48.Nxe4 Kf5 49.Ng3+
Ke6 50.Qb6+ Qd6 51.Qxa5 h5
52.Qa8 Kd7 53.Qb7+ Kd8 54.Ne4
Qe5 55.Qd5+ 1-0

さて、最近では体力の衰えを感じる機会が多くなってきました。チェスだけでなく、人として基礎体力の向上に取り組みつつ、引き続きなるべく多く大会に出ることが、今後の目標です。



GM Alexandra Kosteniuk 同時対局イベント

6月8日（月）、ChessCenter UENOにおいて、GM Alexandra Kosteniukによる女性限定同時対局イベントを開催しました。本イベントは、「WR Women's Chess Tour 2026 Tokyo」への出場に合わせて来日した元女子世界チャンピオンGM Kosteniukの「日本の女性プレーヤーと交流したい」という希望を受けて実現したもので、11名の参加者が世界トップクラスのプレーヤーとの貴重な時間を過ごしました。

同時対局は1組目7名、2組目4名の2部制で行われました。1組目ではTakayasuさんが終盤まで粘り強く指し続け、最後は1ポーン差という接戦となりましたが、惜しくも敗れました。また、2組目では対局が進むなかで1対1となった三津山さんが、持ち時間の少ない状況でも積極的な攻めを見せ、GM Kosteniukに難しい対応を迫り、見事に引き分けを獲得しました。引き分けが決まると、周りで対局を見守っていた人たち



から拍手が送られました。対局中には、「WR Women's Chess Tour 2026 Tokyo」で公式解説を務めたGM Jan Gustafssonが会場を訪れる一幕もありました。

同時対局終了後には質問コーナーが設けられ、GM Kosteniukは参加者からの質問に自身の経験を交えながら丁寧に答えました。「チェスに魔法はありません。毎日続けることが大切です」と継続の重要性を語るとともに、ミスや敗戦も成長の一部として受け入れ、自分自身と向き合うことの大切さに

ついても話され、参加者は熱心に耳を傾けていました。

イベント終了後には、GM Kosteniukにサインを求めたり、個別に会話を楽しんだりする参加者の姿も見られました。後日、「チェスへの意欲がさらに湧いた」という感想も寄せられるなど、対局だけでなく、その後の交流を通じてGM Kosteniukの人柄にも触れることができ、大変貴重な交流の機会となりました。



参加者の質問に答えるGM Kosteniuk

チェス大会 【文】上杉賀子 in アメリカ

- 全米高校チャンピオン/FIDE マスターへの軌跡 -

息子（上杉 晋作・2007 年高校 1 年生で全日本史上最年少チャンピオン）が 2009 年チェス国籍日本の最年少 FIDE マスターとなり 2010 年全米高校選手権で優勝するまで（さらにアメリカの Senior Master の資格となる USCF レート 2400 の壁を超えるまで）参戦した、アメリカの全ての公式戦、約 180 大会の様子を順番に載せてみようと思います。渡米から 1 年半、紆余曲折を経て現地生活に馴染んできた頃、小学校のチェスクラブの案内を見かけて入部。これが始まりでした。その一年後、いよいよトーナメントプレイヤーとして出陣です。

NO.90 リチャード・デラウン・メモリアル

2007 年 5 月 19 日～20 日
晋作 (16 歳) の結果: 3.5P/5Games
レーティング 2231 → 2254

首都圏エリアで有名だった IM の Delaune さんが 2004 年に亡くなられて 2005 年よりメモリアルトーナメントがおこなわれ、毎年出場しています。私はスケジュールを組んでいましたが、本人はあまり乗り気ではなかったので申し込んでいませんでした。6 月 1 日は高校の卒業式で在校生は休み、久し振りに朝寝坊して、午後早い時間に運転練習をして本人も時間ができたのか、行ってみようかなということになり、急遽、夕方家を出て夜 8 時からの第 1 戦に間に合わせました。

Open、U2200、U1600 の 3 セクション、昨年は 130 人ほどいましたが今年は 68 人ほど、小さなローカルトーナメントですが Open セクションは GM2 人、IM1 人、FM2 人、NM5 人を含む合計 18 人です。GM は Joel Benjamin (USCF 2656 FIDE 2576) と John Fedorowics (USCF 2526, FIDE 2457) です。Delaune さんのとても親しい友人ということで参加されています。



第 2 試合 GM John Fedorowics とドロー！

Round 1 (G/2 一持ち時間 2 時間ずつ) USCF1800 台の、大学卒業したばかりの相手で、申し訳ないくらいの圧勝でした。

Round 2 (以降は 30/90. SD/1 一持ち時間 30 手 1 時間半+サドンデス 1 時間ずつ) GM Fedorowics (USCF 2526 FIDE 2457) とやって、最終的にドローをオファーされました。それを断ってエンドゲームで勝ちきれほどの厚かましさを自信もなく、受けました。

Round 3 前の Round2 で GM Joel Benjamin とドローにして気分の乗っていた FM Dov Gorman (USCF2346 FIDE2319) と。これは完勝でした。

Round 4 相手は GM Joel Benjamin。惜しいところで引き分けをものがし、非常に残念でしたが、試合直後、珍しく GM みずからアナライズを買って出てくれました。そして「Very Talented だからもうちょっと時間を使うように」と（お世辞でしょうが）いってくださいました。そうなんです。

チェス大会 in アメリカ

- 全米高校チャンピオン/FIDE マスターへの軌跡 -



第4試合 GM Joel Benjamin に惜敗！

ングになり勝ちました。ちょっと感激しました。途中まで見ていて先に帰って結果が引き分けではなく勝ったと知ると驚く人がたくさんいると思います。

FIDE レーティングもかなり上がり、USCF は 2250 台を突破します。まだしばらくは上下するでしょうが、以前は考えられなかった USCF 2300 台も夢ではなくなるかもしれません。継続は力な

晋作のほうがどちらかというと早指しで、失礼ながら GM をむかえうっているような感じで途中、いい線だったと思います。最後はドローのような感じでしたが、何かミスしたんでしょう。負けてしまいました。かなり悔しかったと思いますが、それでも合間に友人たちと話したり遊んだりして気もまぎれたと思います。

Round 5 最終戦、3.5 同士の GM2 人はもちろんドローで 4.0、優勝タイ。あとは 2.5 の晋作たち 6 人のなかで勝った選手がトロフィー（3 位まで）です。GM2 人とやった晋作はタイブレーク 1 番だったので、勝てばトロフィー（クリスタルのすてきなもの）でした。VA 州 Champ の NM は早々に FM に勝ち 3.5、もう 1 人のベテラン NM が IM カーフマンさんに勝っ

て 3.5。晋作は NM Yu Zhong Lu と（歴代有名な MD 州の Scholastic Champ で、今はこの大会となった会場 US Chess Center のコーチです）。試合が始まってしばらくは日ごろの寝不足がひびいているのか、ほとんど目をつぶりそうで心配しました。試合のクライマックスは最後です。89 手までいきました。向こうがルーク 1 個とポーン 2 個、晋作がクィーンを作ってあとポーン 1 個、ポジション的に（かどうか私にはわかりませんが）まわりは皆、引き分けだろうといいました。勝ちきるのは難しい、けど何とかするかもしれないという期待もありました。最後、集中力はすごかったです。あとでコンピューターで見れば簡単かもしれませんが、必ず勝つというつもりで一歩一歩指していました。そして最後はキング & ポーン対キ

りです。

GM Joel Benjamin に負けたのも、GM Fedorowics さんの引き分けを受けたのも、ま、可愛げがあってよかったでしょう。（写真、とりまくりました。）これで名前も覚えてもらったと思います。Delaune さん記念大会で友人として参加した GM2 人が最後まさにグランドマスタートロフィーで同時優勝となるシナリオの一端を担ったような感じでした。

晋作は GM2 人について 3 位となり、欲しかったというあのトロフィーがもらえて喜んでいました。USCF 2500-2600 台が怖くなくなったというのは大きな進歩です。もちろんそう簡単にいくものではありませんが、いい試合ができる「ときもある」という段階まできたのはすごいです。全日本での経験と「日本チャンプ」としての自覚が

チェス大会 in アメリカ

- 全米高校チャンピオン/FIDE マスターへの軌跡 -

効いていると思います。

これまで GM と名のつく方との公式戦は5戦、うち2分け3敗の勝率 20%。ただそういう人たちは大舞台では全然、格がちがうから…でもこれでワールドオープンは今後も Open に挑戦かなと思っています。

Richard Delaune さんの奥さん（奥さんのお母さん）もおめでとうといってくださって「日本チャンピオンですってね。おめでとう」ともいってくださいました。

ということで宿題をやる暇もなく翌日は科学のテストだそうで、今週末からの期末試験もどうなることかわかりません…

この大会で U1600 で優勝した子は6年生、チェスを始めてまだ1年です。晋作が TD をした大会に出ていた縁で、とても慕ってくれています。彼は中国人でこの夏、中国のおばあちゃんちに帰って、1ヶ月半のチェスキャンプに参加するそうです。夏が終わったらもうすっかりライバルになっている

かもしれませんね。

長男は夏のインターンシップのため、家には2週間いただけで大学に戻りました。大学の HCI 以外に Math Dept でもお手伝いをさせていただくそうです。身近に苦労人の学生などもいて刺激も受けているようで、大学生になって大人になったなあと思います。行きはノンストップで3時間半ハイウェイを運転してくれて私は助手席で寝ていました。

「個人レッスン」

こちらでは個人レッスン（コーチをつける）というのはどんな種目でも普通に気軽におこなわれています。というのも日本では学校の「部活」「サークル」のような「団体」でもコーチや先生方、先輩方が充実していろいろ教わることはできますが、こちらではたとえば「スイムチーム」でも年会費払うくらいではひたすら泳ぐだけで、うまくなりたい人は「個人レッスン」です。（それがわかったのはこちらにきて何年もたってから

です。）長男は日本の YMCA でしっかり基礎を習ってきたので4種目きれいに泳ぎます。晋作は小2までだったので、平泳ぎは終わっていましたがバタフライがまだ完成されていなくて、ちょっと苦労しました。「テニスクラブ」「ゴルフクラブ」でもクラブではただの練習で、うまくなりたい人は個人レッスンというシステムです。楽器の個人レッスンはとても盛んです。ハイスクールでも Band（日本というブラスバンド部のような感じですが）を続けるなら個人レッスンを受けるよう先生にすすめられます。長男はトランペットを受けていました。ピアノやバイオリンならいざしらず、トランペットの個人レッスンを受けるなんて、少なくとも私が育った場所、年代では考えられなかったことです。晋作もいろんなことをやって、いろんなクラブに属していますが、「個人レッスン」をつけているのはチェスだけです。



対戦後、GM Joel Benjamin と感想戦

広報部 マガジン編集チーム

木下奏子 神田大吾

山内美加 真鍋浩

鈴木秀聡 桑田晋

森谷真理子 白水宏樹

(順不同)

発行

一般社団法人 日本チェス連盟

本誌に掲載された写真、イラスト、記事、棋譜の解説等について、無断転載および無断配布を禁止します。著作権はそれぞれのクリエイターにあります。
ご意見・ご感想などは japanchess.editor@gmail.com までお寄せください。